

## <商い担い手育成塾>

### “事業承継”をテーマに 年度末レポートの提出を！

思わぬ新型コロナウイルス対策で、各種イベントなどが中止や延期の措置を取らざるを得なくなっています。

2月の「商い」塾は、まだ県内に感染者が出ていない26日に、無事開講できました。お招きしたのは四国銀行須崎支店長の経験を持つ県事業引継ぎ支援センター総括責任者の原浩一郎氏でした。”事業承継”をテーマにした第二講です。

県内の事業者数の減少に歯止めがかかりません。この7年間の減少率は5.5%で、全国(3.6%)を大きく上回っています。この数字は地域(特に中山間)の衰退に直結しているのです。また、引継ぎ者は「息子・娘」が3割を切り、「社外の第三者」の割合が急増して、4割に近づいています。

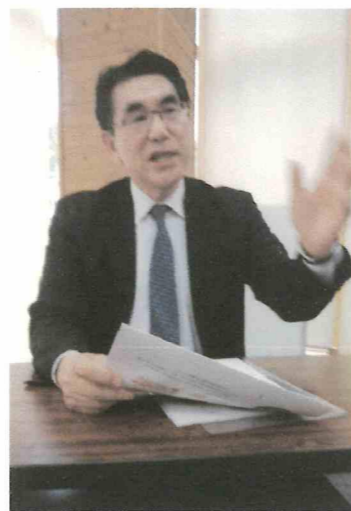
支援センターへの相談件数は令和元年10月末で120件。ヒアリングに「後継者不在」と答えた事業主が多く。対象の枠を広げて、引継ぎ先を探さざるを得なくなっています。「身近にいなければ、県内さらに全国を対象に探す」が引継ぎ支援センターの方針です。各県の支援機関が情報交換し、よきマッチングを探る。移住者もターゲットのひとつで、HPで全国に情報発信し、引継ぎ希望者を募っています。(下段写真：高知求人ネット)

国は事業承継の際の贈与税・相続税の納税を猶予する「事業承継税制」をスタートさせました。また、新しい取り組みを行う事業者に対して最大500万円の補助制度を、更に元年度の補正予算『世代交代集中支援』に64億円。

説明をしつつ、原さんは「この課題解決はまことに難しい」と心情を吐露しました。「けんど、(自分で)抱えてはは一步も進まない。多くのメニュー(補助制度)もあるので、直接相談に来て欲しい」と1時間の講義を締めくくりました。

相談先：高知県事業引継ぎ支援センター 電話番号088(802)6002

塾生にレポートを課しました。今月25日に再度原さんを招き、レポートをベースに意見交換する予定です。



原 浩一郎さん



講義風景



「高知求人ネット」のホームページ

## <森づくり担い手育成塾>

### 大きく変動する中流(製材業)・塾長雑感

1月の「森づくり塾」は山の現場(上流)を一旦離れて、林業界で「中流」と呼ばれる製材業の現状を、大豊町の高知おおとよ製材と高知市の高知プレカットの研修で、確かめました。塾長(笹岡)の印象で報告します。

まず、高知おおとよ製材から。塾生とともに年間10万㎡の大型工場を訪ねるのは3年ぶりでした。工場稼働から7年、順調に生産量を拡大して、工場長は岡田氏から宗国氏に引き継がれていました。

今後の運営について、宗国工場長は「運輸業界の事情(人手不足)で、これまでの関東圏から名古屋以西が販売の主力となる」と、出荷先の変化に言及しました。激しい価格競争が続く製材業界です。関東での販売には輸送コストの面でハンデが大きく、品質の良さでは勝ち切れないでしょう。

また、「今後は県内需要にも応えたい」との気になる発言がありました。おおとよ製材の製品が出回ると、中山間の製材は太刀打ちできない恐れがあります。



高知おおとよ製材にて



高知プレカット工場にて

日本の家づくりは約20年前までは、大工さんが材木に墨付けし、ノミで掘り、カンナで削って棟上げの準備をしてきました。それがパソコンのデータを読み取り、機械で仕上げる『プレカット』に移行し、今や「手刻み」は数%を残すだけとされています。激変しました。

県内にはプレカット工場が2社あり、橋原町森林組合が製材した木材が多く加工される高知プレカットを訪ねました。昨年、機械設備を一新したそうです。また、会社は毎年売上・利益ともに右肩上がりだそうで、少し意地悪な質問を担当課長にぶつけました。「高知のプレカットは高いと言われてはいますが・・・」

次の答えが返ってきました。「県外より少し高い。県外の工場は安い原木を仕入れ、抱き合わせで利益を確保していると思います」。

県内の工務店で、愛媛や徳島のプレカット工場を使うケースが増えているようです。最近では、九州勢が更に格安の値段で営業に来ている、とも聞きます。

こうした中流(製材)・下流(工務店)の動向も把握しつつ、今後の橋原の森づくりと林業を、塾生とともに考えてゆきたいと思っています。

### 「料理教室」を延期！

「春近し！心と身体にやさしい献立4品！」で、22日に開催の案内をした本先生の「料理教室」は延期を決めました。感染が終息しましたら、内容も含めて、再度ご案内を致します。どうぞ、お待ちください。

<森づくり担い手育成塾>

求む！ 森林・林業の知見を更に深めたき人材！

梶原町は森林組合が持続可能な森林経営を目指す国際認証・FSCを取得し、広範囲の間伐を実施するなど積極的に森づくりを進めて来ました。

役場に出向して来た県の林業職員は、「町内に荒廃林が少ないことに驚いた」と言います。一方で、その一斉間伐を担った人達は高齢化し、新しい森林づくりの担い手が求められてきました。

その担い手を育てる「森づくり塾」は、8名の塾生が3年の課程を終えて、町内の各現場で働いています。

川上から川下まで、実に範囲の広い木材関連産業です。また、令和元年から森林環境譲与税の交付がスタートし、来年度からその金額が倍に増え、森林づくりと林業活性化に新たな取り組みが求められています。

<後継者育成の「枠」を超して>

現在の塾生は、町の「林業担い手支援事業」の助成を受けた事業者を対象としています。今回、町に塾長から要望し、塾生「枠」を拡げて貰えることになりました。いわば、森づくり担い手育成塾の「専攻科」です。

森林環境譲与税は追い風ですが、人口減少とともに住宅（木材）需要は減少が見込まれ、林業を取り巻く環境は予断を許しません。知恵出しと協働が一層求められています。

現在、各分野で仕事に携わり、日々成果を求められている人たちと、一緒に学び前進したいと考えました。例えば、

- ・ 伐採搬出に新たな作業システムの考案や新機材の導入検討。
- ・ 製材業の大型化が進む中で、今後の町内製材業のあるべき姿は？
- ・ 関西や県内にFSC材を提供して来た「顔の見える家づくり」（邸別販売）を、どう維持、発展させるか？
- ・ 新規の需要（きのこ、炭などの特用林産物を含め）をどう開拓するか？ 等々

期間は1年間とします。入塾時に設定した課題に対し、月イチ程度の町内外研修を続け、報告（提案）書を作成して終了とします。手を挙げられる方は、産業振興課・森林の文化創造推進室までご連絡ください。

（塾長：笹岡）

『育成塾と一緒に学びませんか』

塾に入ると、林業に必要な資格取得や林業の生産性向上等スキルアップができます。



○ 森づくり担い手育成塾募集要項

活動内容等	○ 月1回程度の座学、現地実習を行い、課題の解決を塾長と共に探っていきます。塾は平日に開催します。 ○ 塾生になると、無料で林業に必要な資格取得できます。林業架線等 ○ 活動に必要な旅費も支給します。（別途塾で定める規定の範囲内となります。） ○ 塾の受講は無料です。 ○ 塾生期間は、1年間です。（令和3年3月31日まで）
募集資格	○ 林業、製材業を営まれている方又は従事されている方で今後も林業、製材業を行う方。 ○ 町内に居住されている方。
応募提出書類	申込書、応募動機、塾で取組みたい事。（応募動機、塾で取組みたい事は自由記載。）
募集期間	令和2年3月25日～令和2年4月15日まで
その他	ご不明な点は、問合せ先までご連絡ください。申し込み後、選考を行います。選考につきましては、申込者にご連絡します。
申請先・問合せ先	梶原町役場産業振興課内（担い手育成塾事務局） 電話：65-1250 ※ 4月より森の文化創造推進課内に移動します。 電話：65-0811（4月以降）

森づくり担い手育成塾塾長 略歴

笹岡 高志（69）

高知市出身。

高知放送の現場・報道制作部門に長年在籍し、梶原町関係のニュース・番組を多数手がけた。

元RKCプロダクション相談役。

2018年に香美森林組合の取組をまとめた本「山からの伝言」を出版、高知県出版文化賞を受賞。

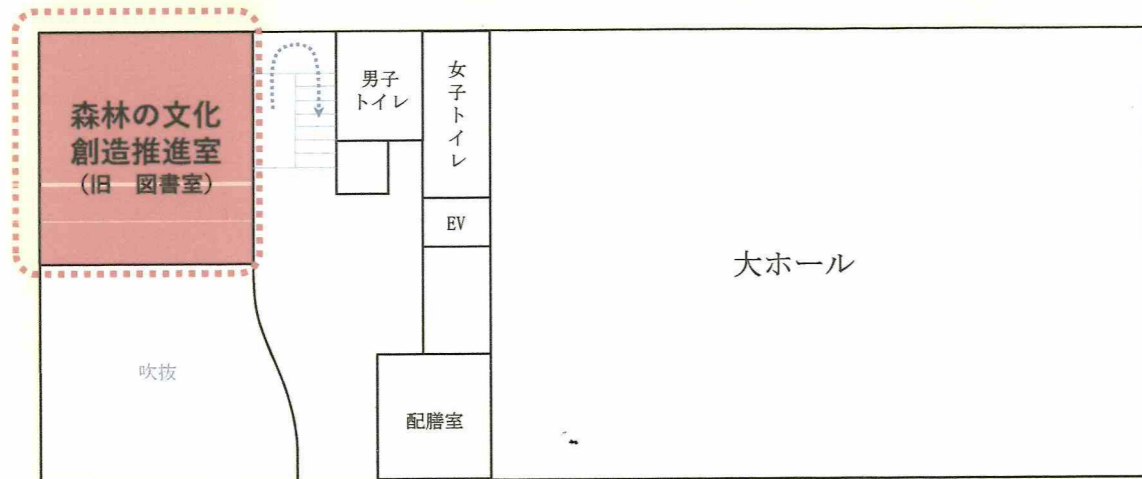




# 梶原町森林の文化創造推進課 事務所についてお知らせ

4月1日（水）より  
下記に開設します。

## ゆすはら・夢・未来館 2階



令和2年4月1日（水）より、産業振興課にございました森林の文化創造推進室が課となり、「ゆすはら・夢・未来館」2階に事務所を開設いたします。

町民の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、下記の内容の届出、ご相談の際にはお気軽にお越しください。

なお、産業振興課（農政係・商工振興係）は、これまでどおり1階にございます。

☎ 65-0811 IP\*\*65-0811

### 業務内容（旧林政系の業務）

- ・ 家回りの危険木除去
- ・ 住宅への町産材利用
- ・ 森林づくり推進交付金（旧：水源地域森林整備交付金）
- ・ その他林業に関すること
- ・ 有害鳥獣報奨金関係
- ・ 若者定住での住宅整備

## 梶原町農業委員会委員及び 農地利用最適化推進委員の募集要領

令和2年7月19日をもって任期満了となる農業委員及び農地利用最適化推進委員を募集します。

事項	農業委員	農地利用最適化推進委員
募集人員	5人	5人 (越知面、四万川、東、西、初瀬・松原)
対象者	農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関しその職務を適切に行うことができる者	農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有する者
資格要件	次の要件に該当する者 (1) 町が設置する農業委員会以外の執行機関又は附属機関の委員等でないこと。 (2) 町の職員でないこと。 (3) 破産手続き開始の決定を受けて復権を得ない者でないこと。 (4) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者でないこと。	
応募方法	推薦書または申込書に必要事項を記入し、下記問い合わせ先へ持参または郵送してください。 受付時間 平日の午前8時30分から午後5時15分 郵送期限 5月7日必着	
募集期間	令和2年4月6日（月）～5月7日（木）	
応募状況の公表	募集期間中及び期間終了後ホームページで公表します。	
選考方法	農業委員については梶原町農業委員候補者評価委員会が、農地利用最適化推進委員については梶原町農業委員会が、提出された書類をもとに、推薦を受けた者及び応募した者の評価を行います。（必要に応じて面接を行うことがあります。）	
選考結果の通知	選考結果については、推薦をした者並びに推薦を受けた者及び応募した者の全員に文書で通知します。	
委員の任期	令和2年7月20日から 令和5年7月19日（3年間）	委嘱を受けた日から農業委員の任期の日まで
報酬（月額）	会長 19,800円 委員 15,400円	委員 15,400円
主な業務	農業委員会としての意思決定 ・ 農地の権利移動の認可および農地転用の審査 ・ 農地等の利用の最適化の推進に関する事務 等	担当区域内における現場活動 ・ 農地利用の集積・集約化のための農地の出し手・受け手へのアプローチ ・ 耕作放棄地の発生防止・解消 ・ 地域の農家等との話し合い 等
問い合わせ先	〒785-0695 高知県高岡郡梶原町梶原1444番地1 梶原町産業振興課 農政係 ☎0889-65-1250	

# 東京2020オリンピック聖火リレーの開催に伴う交通規制ご協力のお願い

当日は沿道周辺が通行止めになります。ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

## ルート⑤ 栲原町 三嶋神社 神幸橋前 → 維新の門

ルート概要

4月20日月  
 出発予定 12時10分  
 到着予定 12時30分

⑤ 出発地点 ⑥ 到着地点  
 ← リレールート

交通規制時間  
 11:40~13:00



### ※栲原病院裏側（西側）駐車場について※

当日は、栲原病院裏手(西側)の町道がルートとなりますので、交通規制が解除になるまで車の出し入れができません。また、一部が駐車できなくなります。栲原病院・保健福祉支援センター・社会福祉協議会にお越しの方は、表側（川側）の駐車場をご利用ください。

問合せ先：栲原町教育委員会事務局  
 生涯学習課生涯学習係 大利  
 電話：0889-65-1350 IP：\*65-1350

令和2年3月19日

部落代表者 様

栲原町環境美化推進組合  
 組合長 島崎 勝男  
 (栲原町 環境整備課)

### 令和2年度ゴールデンウィーク期間中における可燃ごみの収集について

ゴールデンウィーク期間中における可燃ごみの収集につきまして、下記のとおりとなりますので、収集日以外のごみを出さないようご協力をお願いいたします。

なお、連休明けの可燃ごみ収集は5月7日(木)から通常収集となります。

### 記

令和2年度

日	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
収集予定	無	収集	収集	無	無	無	無	ビン・カン収集	収集	収集
	昭和の日				憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日		

※5月6日のビン・カン・古紙類の第1水曜日収集地域は、通常通り収集を行います。

# 梶原町複合福祉施設

## 職員募集



複合福祉施設YURURIゆすはらで一緒に働く職員を募集しています。

募集職種	調理員
仕事内容	施設利用者様の食事の調理
雇用形態	常勤臨時職員(更新あり)・パート職員
勤務形態	(シフト制) 早出勤務・日勤勤務・遅出勤務 ※勤務時間が異なるため、詳細はお問い合わせください。
給 与	本会規程による(別途交通費支給)
選考方法	書類選考(履歴書)・面談(随時) ※面談日は後日連絡します

お問い合わせ先

社福)梶原町社会福祉協議会  
梶原町複合福祉施設YURURIゆすはら  
電話0889-65-1800(担当:芝田)  
受付時間(月～金曜日8:30～17:15)